

子育て環境が整備され、高齢者を地域で見守るまちをめざします

I 目標・方向性

若い世代が、共働きなどそれぞれのライフスタイルに応じて、地域で安心して子育てできるさまざまな支援の選択肢が用意されています。また、高齢者の方々も地域で見守られながら、住み慣れた場所でいきいきと生活するしくみが整えられるなど、ともに「すみだに住み続けたい」と思うまちになっています。

II 目標設定の背景

都心回帰の現象により、区内にも夫婦でともに働く世代が増えています。この世代が安心して働き、そして子育てや子どもの教育に取り組めるよう、行政はもちろん地域ぐるみで支援を進めていくことが求められています。

また、高齢化率が22%を超え、健康維持や生活のために働きたい、これまで培った知識を地域に役立てたい、さらには、あらためて趣味や学習をはじめたいという高齢者のニーズに応えることが求められています。一方で、施設介護の整備を進めつつ、在宅介護の裾野を広げるとともに、身寄りのない高齢者の見守り体制も喫緊の課題となっています。

III 課題解決に向けたプロジェクト

1 地域全体で子育て支援や、子どもの教育を進めるまちづくり

本区の合計特殊出生率は1.15まで回復してきましたが、東京都の1.12よりは高いものの、全国平均1.39を大幅に下回っており、子育てや子どもの教育を地域ぐるみで支援することが重要です。そこで、先に策定した次世代育成支援後期行動計画等に基づいて、保育園の待機児童解消や在宅子育て家庭へのサポートなど、きめ細やかな子育て支援策を実施します。一方で、近い将来小・中学校教員の人事権等が東京都から区へ移譲される方向で検討されていることから、すみだ独自の学校教育を構築するための施設整備に取り組みます。また、子どもの成長過程にあわせた心の教育や体力向上、確かな学力の向上に向けて積極的に施策を展開します。

【主な取り組み】

- ・子育てひろば整備事業
- ・緊急一時保育事業
- ・訪問型保育支援事業（すみだ子育て支援ネット「はぐ（Hug）」）
- ・保育園改築・改修事業
- ・認可保育園等整備支援事業
- ・幼保一体化事業
- ・児童館等整備事業
- ・すみだ総合教育研究所（仮称）・区民施設等整備事業
- ・学校校舎屋内運動場等改築・改修事業（35人学級の整備を含む）
- ・区立学校適正配置事業
- ・「学力向上・新すみだプラン」推進事業
- ・放課後子ども教室推進事業
- ・陸上競技場等整備事業
- ・子育て支援マンション認定事業



2 高齢者が地域でいきいきと暮らせるまちづくり

高齢者の方々が生きがいを感じて活動していただく場や、普段から健康づくりのできる機会の提供に努めるとともに、高齢者を地域で見守るしくみづくりを強化します。また、特別養護老人ホーム誘致などの施設整備や、介護が必要な方が安心して暮らせる在宅介護施策も積極的に展開します。一方で、高齢者が地域で安心して医療や必要な支援を受けられるよう、福祉・介護分野とも連動した保健医療連携体制を構築します。

【主な取り組み】

- ・元気高齢者施設管理運営事業
- ・墨田区シルバー人材センター運営支援事業（高齢者の就労拡大等）
- ・高齢者支援総合センター事業（地域包括支援センター事業）
- ・高齢者みまもり相談室事業
- ・地域密着型サービス施設整備支援事業（認知症高齢者グループホーム等）
- ・介護予防事業
- ・都市型軽費老人ホーム整備支援事業
- ・特別養護老人ホーム整備支援事業
- ・高齢者個室借上げ住宅供給事業
- ・地域医療連携の推進事業

